

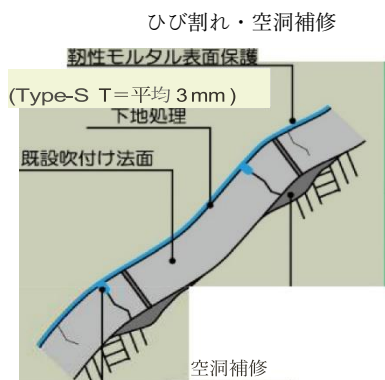
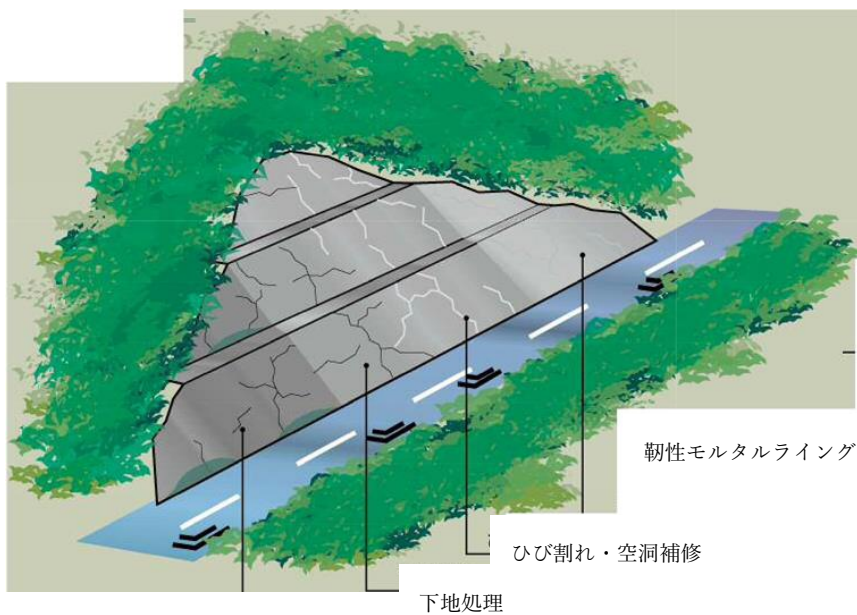
韌性モルタルキーパー

道路のり面で施工されている吹付コンクリート(モルタル)は長年の劣化と外力等によりひび割れを生じています。

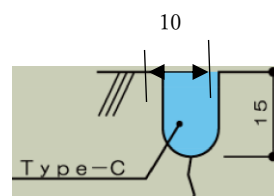
特殊ポリマーセメントモルタルにビニロン繊維等を混合して作った材料(韌性モルタル)で既設法面のひび割れ部と表面を補修する工法です。

韌性モルタルは、付着性、伸縮性、曲げ靱性等に優れているうえに高い耐久性を有する不燃性無機系の材料です。

構造的にも、韌性モルタルをひび割れ部へ充填、表面に平均 3 mm ($t=2 \sim 4$ mm) 厚で吹付けるといったシンプルな構造です。



【ひび割れ補修 参考図】



優れたひび割れ抵抗性

引張終局ひずみ 0.1 %以上の性能を実現したことで、従来ポリマー セメントモルタルと比べ、ひび割れ抵抗性に優れた材料です。

既設法面安定性

吹付け厚さ（T =平均 3mm）が薄く、単位体積重 量も軽いため、既設法面の死荷重を増大させることなく表面保護が図れます。

工期短縮

既設構造物を残したまま施工できる工法で、下地処理、ひび割れ補修・空洞充填後に吹付けするシンプルな施工で工期短縮が図れます。

経済性

既設構造物の取壊し作業もなく、大掛かりな仮設、機材を必要としないため経済的な施工が可能です。

環境性(ECO)

既設構造物の処分を必要としない、環境に配慮した工法です。

仕様

標準配合表

	A材(粉体)	B材(短繊維)	C材(混和剤)	備考
1袋当たりの標準配合量	10kg/袋	0.12kg/袋	30kg	見かけ比重 1.7

【Type-C(ひび割れ補修工)】

	A材(粉体)	B材(短繊維)	C材(混和剤)	水	備考
1袋当たりの標準配合量	20kg/袋	0.25kg/袋	40kg	24±0.2kg	見かけ比重 1.95

【Type-S(のり面保護用)】

施行手順



①準備工（土砂撤去等）



②調査工（空洞調査）



③下地処理工（洗浄・目粗し）



④ひび割れマスクング・測定工



⑤ひび割れカット



⑤ひび割れ充填工



⑤ひび割れカット・充填工



⑦靱性モルタルライニング



⑧完了